

【大会実施に係り】

(1) 参加について以下の場合には見合わせる事

- ① 体調が悪い場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
- ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- ③ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

【大会中止の判断について】

国や県からスポーツイベント等の中止制限がかけられた場合は中止とする。

【開催にあたって】

- (1) 岩手県、岩手県教育委員会から示されている感染症に係る通知の範囲内での開催とする。
- (2) 会場内では三密の回避、マスクの着用、換気、消毒等を行う。
- (3) 感染拡大により、大会途中で中止になった場合は、その後の感染拡大を防止するためにも、原則、別日程での開催は行わないこととする。
- (4) 学校関係者（部活動指導員、コーチを含む）に限り会場観覧席への入場を可とする。観覧席の規模等の理由により、保護者の入場は認めない。

【参加校・参加者に関する事】

- (1) 参加申込の前に、生徒本人と保護者の参加意向を確認しその意向を尊重すること。
- (2) 引率責任者は、参加する生徒の健康状態（検温・体調）を把握し、体調管理を徹底させること。
- (3) 宿泊が伴わない参加が望ましいが、やむを得ず宿泊を要する場合は、部員同士及び、他の宿泊客との密接を避けるなど感染防止の配慮をすること。
- (4) 大会期間中に発熱した選手についてはすぐに医務室に隔離のうえ保護者に連絡して迎えに来てもらい、医療機関を受診し、医師の判断を仰ぐ。また、保護者が迎えに来られない場合は、保護者の同意を得て顧問が医療機関まで搬送する。その際生徒は運転席の真後ろではなく運転する顧問と反対のドア側に座り、窓は開けた状態にする。生徒・顧問はマスクを着用し、会話は控える。受診後は原則保護者に迎えに来てもらう。

引率責任者は以下の基準により該当選手との濃厚接触者の特定をし、特定された生徒は直ちに帰宅して自宅待機する。また、引率責任者は専門部の大会運営本部に報告し、その後の大会参加について協議のうえ決定する。

濃厚接触者の特定基準：1メートル以内の距離で互いにマスクなしで①会話を交わした②向き合って食事を取った③密集する運動や接触する運動をした④合唱や管楽器演奏をした生徒（時間の長さは問わない）。

【感染陽性者及び濃厚接触者等への対応】

(1) 感染陽性者について

陽性者は大会参加不可。保健所及び医師から指示された健康観察機関（自宅待機）の解除後も、

咳などの身体症状が残る場合は、大会参加を自粛するなど、学校で適切な対応をすること。

(2) 濃厚接触者について

学校が特定した濃厚接触者については、健康観察期間（自宅待機）は大会に参加できないものとする。なお、健康観察期間は原則7日間（8日目解除）だが、4・5日目の抗原定性検査キットで陰性確認（自費検査）後、5日目から解除可能とする（7日間は検温など自身による健康状態の確認をする）。

(3) 濃厚接触者の疑いがある場合について

学校が濃厚接触者を特定するまでは、可能性のある生徒はすべて『疑いのある者』として、体調等にかかわらず大会参加を見送り自宅待機すること。なお、学校の濃厚接触者特定に該当しなかった生徒は、その後の大会参加を可とする。

(4) 参加について

ア 学校が休校措置になっている場合は、チーム及び個人（生徒）の大会参加を見送る。また、学年閉鎖、学級閉鎖になっている場合は、当該学年、学級に所属する生徒の大会参加を見送る。

イ チーム内で大会一週間前から前日までに部活動が起因する小規模クラスターが発生したチームは、大会参加を見送る。